

Bulletin Annuel d'Études Françaises

—年報・フランス研究—

23



1989

フランス語状況表現の記述のために

ゼロ記号の諸相と∧排除されるもの∨

Leys d'Amors 中世オック語の Bon Usage

サルトルの劇作における幼年期

代名詞 lui と y' 又は actant と circonstant について

——仮説と方法——

ネルヴァルとゲーテ

「スワン家の方へ」に於ける “Sujet intermédiaire”

代名詞 “ON” に関する一試論

『ふくろう党』における登場人物の役割

曾我祐典

大林繁樹

茂山さえ子

岡村雅史

藤村逸子

藤田友尚

榎本いずみ

土井隆広

福田完治

Comment décrire les circonstants en français

SOGA Yusuke

Le signe “zéro” et ce qui est exclu par sa naissance

Shigeki OBAYASHI

Las Leys d'Amors—Le Bon Usage de la Langue d'Oc au Moyen Age

Saeko SHIGEYAMA

L'enfance dans le théâtre de Sartre

Masafumi OKAMURA

Les pronoms *lui* et *y*, ou l'actant et le circonstant

Itsuko FUJIMURA

Nerval et Goethe

Tomonao FUJITA

Le rôle du “sujet intermédiaire” dans “*Du côté de chez Swann*”

Izumi ENOMOTO

Essai sur le pronom “ON”

Takahiro DOI

Le rôle des personnages dans *les Chouans*

Kanji FUKUDA

関西学院大学フランス学会規約

第1条 本会の名称は関西学院大学フランス学会とする。

第2条 本会の事務所は関西学院大学フランス文学研究室に置く。

第3条 本会の会員には次の者がなれる。

1. 正会員

a. 関西学院大学フランス文学科の専任教員と卒業生。

b. 関西学院大学大学院文学研究科フランス文学専攻の学生と卒業生。

2. 推薦会員

第3条1項以外の者で、本会の委員会の推薦を得て、総会により承認されたもの。

第4条 本会は会員相互の協力によりフランス語及びフランス文学の学問的研究と、研究成果の交流を目的とする。

第5条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会の開催。2. 研究機関誌の

発行。3. その他の必要な事業。

第6条 本会に会長及び編集、会計、会計監査の各委員を置く。会長はフランス文学科の主任教授がこれに当り、各委員は会員中より互選する。

第7条 会長及び各委員は委員会を構成する。

第8条 本会の研究機関誌の編集責任はフランス文学科の専任教員が負う。

第9条 本会の総会は年に一回以上開催し、委員の選出、会計報告の承認、重要事項の議決を行なう。

第10条 本会の総会は大学院学生会員と専任教員会員の過半数の出席により成立する。

第11条 本会の運営は会員の会費（年額1,000円）及び有志よりの寄付金を以てこれをなし、会計報告は総会で会計委員が行う。

第12条 本会の会則は委員会と総会の3分の2の賛成を得て改正される。

年報・フランス研究 23

発行所

関西学院大学フランス学会

編集兼 高塚洋太郎
発行者

〒662 西宮市上ヶ原

関西学院大学フランス文学研究室内

電話 0798-53-6111 (大代表)

1989年12月20日 印刷

1989年12月25日 発行

印刷所

協和印刷株式会社
京都市右京区西院清水町13

